

寺島しのぶ
常盤 貴子

落井 実結子 (役)
安達 祐実
渡辺 いっけい
東 ちづる
宅麻 伸
春風亭 昇太
辰巳 琢郎
渡辺 梓
窪塚 俊介
山田 邦子
小倉 蒼蛙 (部)
堀内 正美
松本 路子
磯村 みどり

両親は知的障がい者
こんなに豊かな家族の物語

高島 礼子
船越 英一郎

私のかあさんは、知的障がい者でしたが、
私にとって最高の母でした

監督・ゼネラルプロデューサー
山田火砂子
プロデューサー
上野 有

わたしのかあさん
— 天使の詩 —

脚本 山田火砂子、坂田俊子 音楽 朱花 撮影 高間賢治 照明 上保正道 録音 前田一穂 美術 山下修侍 美粧 小堺なな 制作 株式会社 現代ぷろだくしょん



宅麻伸



小倉蒼蛙 (一部)



辰巳琢郎



東ちづる



渡辺 梓



監督 山田火砂子

こども家庭庁こども家庭審議会推薦
児童福祉文化財



『わたしのかあさん』
公式サイト
www.gendaipro.jp
/mymom/

映画『わたしのかあさん — 天使の詩 —』のテーマ

児童福祉文化賞(児童健全育成推進財団選定)受賞の児童文学『わたしの母さん』(菊地 澄子作)が原作。小学校3年生の高子が、両親の知的障がい気づき、葛藤する。「世間」の声や目線に押しつぶされ、「恥ずかしい、よその家の子になりたい」と思い詰める…。物語は、障がい者福祉施設園長となった現代の高子(常盤貴子)を取り巻く状況と、1980年代の母・清子(寺島しのぶ)との回想エピソードを中心に展開する。冒頭から、実際に障がいがある子どもたちが自然な姿で登場し、俳優らとぎやかにかかわる。家族の葛藤のエピソードは、監督自身が知的障がいがある娘を抱え、社会と向き合ってきた、という経験に裏打ちされている。さらに清子の母・秀子のエピソードや、社会福祉の父・糸賀一雄の足跡も紹介されることで、戦後3世代、4世代にわたり、制度や偏見をこえてきた人々の営みも伝わってくる。「武器よりも福祉にお金を」、「なんて誰も戦争を止めないんだ」など、現代の日本や世界への率直なセリフもためらわず盛り込まれる。認知症、ヤングケアラー、共働き、など様々な社会的課題も意識されるだろう。「善をもって、悪に報いる」。弱さを抱えた小さな家族の前向きな姿が、戦いに満ちた現代世界に一筋の光を見せてくれる。



上映会のお知らせ

・開場は各回30分前(予定) ・1回につき〜2時間30分程(ご挨拶と映画本編110分ほど) ・🎬は字幕付上映

2025
1/19 長崎原爆資料館 ホール
(日) 《開演》①10:30🎬 ②14:00🎬

路面電車「原爆資料館」停下車徒歩5分
またはバス「浜口町」停下車徒歩約5分

前売券販売 チケットぴあ (Pコード:554533)

●前売券 一般:1,300円 ●当日券 一般:1,800円

●障害者手帳をお持ちの方:1,000円 ※製作協力券にて入場可。

チラシ割引 当日一般:1,500円/小学生:800円

※本チラシご持参で5名様まで有効

後援 (一社)大学女性協会・長崎支部/BPW長崎クラブ/i女性会議長崎支部/N-WIP(ながさき女性国際平和会議)/DV防止ながさき/ながさきwomen'sラボ/長崎YWCA/長崎県"人間と性"教育研究協議会/長崎市退職女性教職員の会/長崎民主商工会婦人部/日中文化交流会ながさき/ぼってん・うまん・の会/モッシューもうせくハラを許さない女たちの会・ながさき

お問い合わせ 現代ぷろだくしょん 03-5332-3991 (平日10時〜18時) e-mail:gendaipro@gendaipro.jp